

事業報告

自 平成21年4月 1日
至 平成22年3月31日

I 事業の概況

1 事業の経過及び成果

当期の経済状況は、引き続き景気の低迷、夏期の天候不順による観光地への入込客の減少、訪日外国人の大幅な減少等、大変厳しい状況となりました。

こうした中、航空業界においては、乗降客の減少等により、各航空会社は、国内外の総合的な見直しから、不採算路線からの撤退及び減便が加速し、各空港に大きな影響が出てきているところであります。

当空港における年間乗降客数は327,137人で、対前年度比27,649人の減(7.8%の減)、搭乗率54.7%(4.9ポイントの減)となったところであります。

また、昨期に引き続き、9月20日～21日及び10月11日～12日の計2回、青森三沢空港へのチャーター便を運航したところ、2回とも直ちに定員となる盛況でありました。

【路線別 乗降客数】

路線	実就航便数 (便)	乗降客数			搭乗率 (%)	対前年度比 (ポイント)
		(人)	構成比 (%)	対前年度比 (%)		
函館	4,523	122,476	37.4	△8.6	55.1	△6.1
釧路	2,816	63,823	19.5	△12.5	46.8	△4.6
根室中標津	2,148	81,449	24.9	△1.7	67.7	△2.7
女満別	1,430	41,147	12.6	△9.3	51.4	△6.1
稚内	689	17,891	5.5	△8.5	46.4	△4.9
三沢チャーター便	8	274	0.1	—	100.0	—
奥尻チャーター便	6	77	0.0	—	35.6	—
合計	11,620	327,137	100.0	△7.8	54.7	△4.9

2 経営状況

営業収益については、170,461千円(対前年度比12.2%増)、営業費用については、不要不急な支出及び経費の徹底的な節減を図ったものの、設備の経年劣化による部品交換等の結果、136,291千円(対前年度比11.5%増)となり、営業利益金額は、34,170千円(対前年度比15.0%増)となりました。

また、ANA丘珠空港路線問題等の関係から、本年着工を予定していた当空港ビルリニューアル工事の中止に伴い、前年度当該概算設計費の3,500千円を、固定資産(建設仮勘定)へ計上しておりましたが、当該工事が中止となったことから、今期損失処理した結果、最終的に税引後の当期純利益金額は、16,542千円(対前年度比1.3%減)となったところであります。

一方、資金の状況については、リニューアル等工事計画の中止及びANA丘珠空港路線撤退に伴う当社の経営への影響を勘案し、支出を抑制した結果、231,514千円(対前年度比49,402千円・27.1%増)となったところであります。

3 今後対処すべき課題

世界的な流れとなっている、各航空会社の撤退及び減便は、地方路線にも及んでおります。

当空港においては、乗降客数の80%以上を占めるANAが、平成22年6月末をもって丘珠空港路線を全て、新千歳空港へ移転することから、当社及び当空港を取り巻く環境は、非常に厳しい状況となることが見込まれております。

つきましては、当空港の付加価値を高めるため、北海道、札幌市、経済界、就航先空港ビル会社等の関係者と連携し、搭乗率向上対策としての、観光客誘致等土・日・祝祭日の利用拡大、冬期就航率向上対策としての施設の拡充要請、乗降客以外の集客対策としての産直市・ロビーコンサート等各種イベントの開催、将来の空港利用促進を見据えた道外チャーター便の運航、また、空港機能施設事業者の役割としての保安対策として、バリアフリー更にはユニバーサルデザイン化等による利用者サービス向上に取り組んで参ります。

今後とも札幌の空の玄関口として、地域に愛される空港を目指します。

4 設備投資の状況

今期は、当空港ビル給湯設備の交換及び経年劣化に伴うロビーチェアの更新等8,215千円の建設改良事業を行ったところであります。

5 資金調達の状況

当期中に実施した設備投資の所用資金(8,215千円)はすべて自己資金を充當いたしました。

6 入居者(平成22年3月31日現在)

① 航空会社

株式会社エアーニッポンネットワーク(全日本空輸株式会社)

株式会社北海道エアシステム

② 飲食店

おかだま食堂(株式会社中央調剤)

③ 物販店

ノールマルシェ(札幌製菓株式会社)

④ レンタカー

株式会社トヨタレンタリース札幌

ニッポンレンタカー北海道株式会社

株式会社マツダレンタリース

オリックス自動車株式会社

株式会社日産カーレンタルソリューション

三愛自動車工業株式会社

⑤ その他

北海道札幌方面東警察署丘珠空港警備派出所

国際航空給油株式会社

株式会社ジーエム北都

北都交通株式会社

株式会社日本空港コンサルタンツ

7 業績の推移

単位 千円

回 次	第 17 期	第 18 期	第 19 期	第 20 期 (当 期)
決 算 年 月	平成19年3月	平成20年3月	平成21年3月	平成22年3月
営 業 収 益	143,189	133,410	151,953	170,461
営 業 利 益 金 額	12,085	-1,129	29,706	34,170
経 常 利 益 金 額	10,937	7,418	31,185	31,115
当 期 純 利 益 金 額	6,171	-6,251	16,756	16,542
一 株 当 たり 当 期 純 利 益 金 額	620 ^円	-628 ^円	1,682 ^円	1,661 ^円
総 資 産	723,602	719,314	748,449	773,981
純 資 産	681,846	675,595	692,351	708,893

記載金額は千円未満を端数処理しております。

II 会社概要 (平成22年3月31日現在)

1 主要な事業内容

貸室並びに空港利用施設の賃貸業、航空事業社及び航空旅客に対する
役務提供等

2 株式の状況

- | | |
|------------------|----------|
| (1) 会社が発行する株式の総数 | 34,320 株 |
| (2) 発行済株式の総数 | 9,960 株 |
| (3) 当期末株主数 | 9 名 |

3 株主の状況

株 主 名	株 数(株)	持株比率(%)	株主に対する出資
札 幌 市	2,600	26.11	0
エアーニッポン(株)	2,500	25.10	0
北 海 道	1,300	13.05	0
(株)日本政策投資銀行	1,300	13.05	0
札幌商工会議所	862	8.66	0
(株)北洋銀行	648	6.50	0
(株)北海道銀行	450	4.52	0
北海道電力(株)	200	2.01	0
北海道瓦斯(株)	100	1.00	0

4 取締役及び監査役

代表取締役社長	中田博幸
常務取締役	田中 和
取締役	岡倉 寛
同	橋倉 秀
同	木村 啓
同	森 聖
同	藤 政
同	橋 賢
同	坂 耕
同	藤 馨
同	上 唯
監査役	石松大荒
同	近 檜
同	高 花
同	佐 井

当期中の退任取締役

代表取締役社長	加藤 啓世 (平成21年6月23日退任)
常務取締役	岡本 征之 (平成21年6月23日退任)
取締役	下村 邦夫 (平成21年6月23日退任)
取締役	前川 義扶 (平成21年6月23日退任)
取締役	西村 求 (平成21年6月23日退任)
取締役	関川 峰希 (平成21年6月23日退任)

5 主要な借入先・借入残額等

なし

6 従業員の状況

単位 人	
男・女別及び人員	
男子	1
女子	1
合計	2